# **●**これまでの災害ではどんなことが起こったの?

災害発生時には、女性や子ども、高齢者や障がいを持った人など、普段から弱い立場にある人が特に影響を受けやすくなると言われています。

#### 女性に起こったこと

- ・下着や生理用品がない
- ・女性用品を男性が配布するなど、物資を受け取りにくい
- ・間仕切りや女性用更衣室がない
- ・女性専用の洗濯物干し場がない
- 女性用のトイレがない





「性別によって、必要な物資や設備に違いがあるね。」 「女性も避難所運営に積極的に参加して、声をあげる ことが大切だね。」





#### 妊婦や子ども連れに起こったこと

- ・妊娠中の体の状態を理解、配慮してもらえない
- ・思いやりのない発言や配慮のなさによる居心地の悪さ
- ・授乳室やオムツを替えるスペースがない
- ・ミルクや離乳食がない
- ・妊婦なのに水をもらうのに何時間も並んだ



「避難所では、思いやりや 『お互い様』という気持ちが 大切だね。



#### 男性に起こったこと

- ・避難所において、一部の男性に過度な責任が集中した
- ・復旧作業や人手不足のために会社での泊まり込みや 長時間労働が発生し、家庭よりも仕事優先を余儀なくされた
- ・「男性はこうあるべき」という固定観念に縛られ、弱音をはいたり、愚痴を言ったりできなかった
- ・新たなコミュニティーに入ることができず、引きこもりや孤立、 孤独死が起こった





「男性だけに避難所運営を任せるのではなくて、 男女が共に責任を分かち合うことが大切だね。」

## 固定的な役割分担意識によってもたらされたもの



- ・避難所運営の責任者やがれき処理などの力仕事は男性 に集中し、心身を疲労させた
- ・炊き出し、後片付け、掃除や子ども・高齢者の世話などは 女性に集中し、休むことができず疲弊した

「性別にかかわらず、自分の適性に合った役割を 担えるようにすることが大切だね。」



## 高齢者に起こったこと

- ・一人暮らしの高齢者は、情報が届かない、頼る人が身近にいないことから、避難できなかった
- ・要支援の高齢者は、自力で避難所に行けず、自宅で孤立した
- ・避難所での生活が長期化し、持病が悪化した





「日頃からの地域のつながりや、支援の仕組 みづくりが大切だね。」



## 障がいのある人に起こったこと

- ・避難所へ行ったが、段差があり車いすで入れなかった
- ・視覚や聴覚に障害があり、テレビやラジオなどでの情報が得にくかった
- ・プライバシーのない大勢の人がいる避難所でパニックを起こした

「障がいの種類や程度に合わせて、 必要な支援を考えることが大切だね。」



## 外国人に起こったこと

- ・避難所の存在や、救援物資が配布されることを知らなかった
- ・宗教や文化の違いのため、避難所での食べ物に困った
- ・避難所の掲示板情報の日本語が難しく、理解できなかった





「日頃からの災害時の情報提供や 『かんたんな日本語』を使って伝えることが 大切だね。」



## 性的少数者に起こったこと

- ・女性専用、男性専用のトイレや更衣室はあるのに、性別に 関係なく使えるトイレや更衣室がなくて使いづらい
- ・同性カップルで避難所の同じ区画に入りづらい

「だれでも使えるトイレや更衣室を整備したり、 性の多様性を認めることが大切だね。」



#### 女性や子どもへの性被害やDVが増えることも

- ・支援をする見返りとして、性的な行為を要求される
- ・トイレ等が暗い場所にあり、そこで暴力を受ける
- ・見知らぬ男性が知らない間に隣に寝てきて、体を触られる
- ・DV(夫婦やパートナー間の暴力)が増加する





- ●性暴力は、若い女性だけでなく、子どもや男性も被害にあうことがわかっています。
- ●明かりの消えた夜間や、人気のない場所での犯罪が増える傾向にあります。

「被害が発生しないための取り組みや、 万が一発生した場合に備えて、被害者が 相談しやすい環境をつくることが大切だね」



#### 玉野市男女共同参画に関するアンケート調査の結果(令和2年10月実施)

- Q 東日本大震災などの過去の災害の教訓から、平常時の防災体制や災害発生後の対応にも 男女共同参画の視点が必要だと言われています。性別のちがいに配慮した防災・災害対応の ためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)
- 1位 **更衣室やプライバシーの確保**など、**性別に配慮した避難所運営**を行う(60.3%)
- 2位 女性も男性も防災訓練や防災研修会に参加する(54.1%)

更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う 女性も男性も防災訓練や防災研修会に参加する 防災に関する知識の普及において、災害時に女性と男性が 受ける影響やニーズの違いについての理解を深める 男女別のニーズの違いを踏まえた物資の備蓄を行う 男女別のニーズに配慮した避難所運営マニュアルを作成する 避難所運営の際に女性リーダーを配置したり、役割を性別で固定せず分担する 日ごろから、地域の男女共同参画を進める 地域の消防団や自主防災組織における女性の参画を促進する

